

2026 年 5 月 28 日

株式会社オプロ

**森ビルが顧客体験を変えずに受注業務を 50%削減した導入事例を公開
独自の帳票フォーマットを守り抜いた、顧客影響ゼロの DX を実現**

株式会社オプロ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：里見 一典、以下「オプロ」）は、森ビル株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：辻 慎吾、以下「森ビル」）における、帳票 DX 導入による受注・請求業務の工数 50%削減と顧客体験を維持したソフトランディング DX 実現の事例記事を公開したことをお知らせします。

森ビル株式会社は帳票 DX の導入により、年間約 1,500 件の案件において受注から請求に至る業務時間を 50%削減しました。お客様への書類フォーマットをそのまま維持しながら内部業務のみをデジタル化するソフトランディング DX を実現し、大型プロジェクト開業による案件増加にも人員を増やすことなく対応できるようになりました。



導入の背景

東京・港区を中心に虎ノ門ヒルズや麻布台ヒルズなど 100 棟超のビルを管理する森ビル株式会社では、入居企業の点検やセキュリティカードの追加発行、個別設備のメンテナンスなど年間約 1,500 件のにぼる受注・請求業務を長らく Excel や紙で管理していました。担当者がお客様の要望に合わせ帳票を個別にカスタマイズしており、1 件の作成に約 90 分を要していました。入居企業の増加とともに業務負荷が深刻化し、受注・請求業務全体の抜本的な見直しが求められていました。

導入の決め手

「いきなりすべてを電子化すると年単位のプロジェクトになってしまう」と考えた同社が目指したのは「お客様に変化を感じさせず、内部の業務だけを効率化する」ことでした。従来どおりの帳票フォーマットをそのまま出力できる帳票 DX の特性が同社の段階的 DX 方針と合致したこと、また導入前から業務の目的・思想を深く理解し伴走するオプロの姿勢が決め手となりました。

運用状況と導入効果

帳票 DX 導入後、受注業務全体の工数は 50%削減。中でも大きな負担となっていた帳票発行は 1 件あたり 10～15 分からわずか 12～18 秒へと約 98%短縮されました。大型プロジェクト開業による案件増にも、人員を増やすことなく対応できるようになりました。お客様への書類フォーマットは変えることなく、顧客体験を守りながらの内部業務デジタル化を実現しました。

詳細

導入事例の詳細は以下をご覧ください。

- ・ <https://www.opro.net/service/formdx/case/mori-building.html>

帳票 DX の概要

「帳票 DX」は日本のビジネスに欠かせない帳票業務をデジタル化するサービスです。SFA/CRM など業務支援ツールのデータを自由なデザインで帳票出力します。帳票 DX のデザインツールは直感的な操作が可能で業務の内製化を支援するとともに、電子契約サービスやクラウドストレージ、AI-OCR と連携して後続プロセスの自動化も実現します。「AI マッピング」機能によって効率的にテンプレートを作成できるほか、電子帳簿保存法やインボイス制度などの法改正に対応することができます。

- ・ サービスサイト： <https://www.opro.net/service/formdx/>

株式会社オプロ

オプロは「make IT simple」のミッションのもと、お客様の新たなビジネスや価値の創出を支援します。「Less is More」を開発指針とし、データ最適化ソリューション・セールスマネジメントソリューションを通して最適なサービスを提供しております。そして、真の顧客サクセスを実現すべく、サービスを更に進化させてまいります。

- ・ <https://corp.opro.net/>

■ 本件に関するお問い合わせ先 ■

株式会社オプロ（東京都中央区京橋 2-14-1 兼松ビルディング 9F）

お問い合わせ先： <https://corp.opro.net/contact/media.html>（広報チーム）